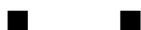


[掲載紙] 朝日新聞「上州経済風信」

[放送日] 2013年10月17日

[テーマ] 観光シーズン到来 一見どころ県内にも発信をー

県の観光企画「ググっとぐんま観光キャンペーン」が10月から始まった。今年は初めて秋から初冬に実施し、県内各地で多彩な行事が展開される。県は期間中の観光入り込み客数の目標を前年同期より5%多い1,537万人に設定している。秋は行楽、スポーツ、読書、芸術、食欲など様々な言葉が冠される季節。観光キャンペーンには最適だろう。



秋に入り、週末になると、「まだ訪れていない県内の観光地を散策したい」との気持ちが高まる。

先月末、紅葉が始まった尾瀬を地元の友人と初めて訪れた。至仏山や燧ヶ岳を眺めながら湿原の木道を歩き、エゾリンドウを觀賞しながら、竜宮十字路の先の福島県境まで散策した。

先週末、初挑戦した谷川岳登山では、山頂「トマの耳」からの視界は不良だったが、天神尾根から眺めた上州の山々は圧巻だった。

前橋まつりでは、昨年が続いて市民参加型のだんべえ踊りなどを路上で楽しく観覧した。



読書や芸術の秋を楽しむための県内施設や催事も充実している。

先日、かねて興味があった邑楽町立図書館を訪問した。よく整理された館内を歩き、貸し出し図書やDVD・CDなどの充実ぶりを見てきた。住民1人当たり貸し出し点数が県内で最も多い図書館で、利用者ニーズをくみ取った特別コーナーも設けられていた。

■ 県内図書館の利用実績 (2011年度)

順位	住民1人当たり貸し出し点数 (点)	登録率 (%)
1	邑楽町 (14.46)	草津町 (169.3)
2	みどり市 (10.94)	邑楽町 (146.3)
3	玉村町 (9.82)	玉村町 (100.8)
4	吉岡町 (9.07)	みどり市 (88.9)
5	甘楽町 (7.78)	明和町 (88.5)

群馬県立図書館「群馬県の図書館2012」から。

登録率=個人登録者数÷人口

土屋文明記念文学館では、愛読者の多い芥川龍之介の特別展を開催しており、駐車場で県外ナンバーの車を見かけた。10月下旬オープンのアーツ前橋では県内芸術家の作品と出合せそう。

県内は、栗、梨、ブドウなど秋の食材が豊富で食欲を満たしてくれる。帰宅すれば、ゆるキャラグランプリで「ぐんまちゃん」へ投票する楽しみもある。

「観光客は県外客」と思いがちだが、県内観光入り込み客の約6割は県内からで、その大半が日帰りだ。県外客の誘致はもちろんだが、観光イベントを県内に積極的に発信し、県内客を増やす工夫も期待される。

■県内観光入り込み客（2011年度）

	県内から	県外から
日帰り客+宿泊客	3,423.0万人	2,458.0万人
うち日帰り客	3,178.6万人	1,988.4万人

県観光局観光物産課「平成23年度観光客数・消費額調査（推計）結果」から



最後に、群馬県金融広報委員会から宣伝させていただきたい。この委員会は、県、日銀前橋支店、前橋財務事務所及び県内金融機関などで構成する中立・公正な団体。毎年講演会を開催し、今年は経済学者の野口悠紀雄先生をお招きして、「日本経済のこれからを考える」をテーマに群馬会館ホールで開く。10月27日午後1時30分からで参加無料。先着400名です。ぜひお出かけください。

（ 日本銀行前橋支店長
相良 雅幸 ）